

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 「清流の国ぎふ」めぐる旅PR事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111 (内 3076)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 58,202 千円 (前年度予算額：50,500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	50,500	1,500	0	0	0	0	0	0	49,000
要求額	58,202	11,191	0	0	0	0	0	0	47,011
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の影響により減少した観光消費額の回復、さらなる拡大を図っていくためには、旅行検討者に対して「ぎふの魅力」を着実に届け、誘客や周遊を促進する必要がある。そして、WEB等による情報発信とともに、イベントの実施や観光展への参加などによる対面でのPRをバランスよく実施するほか、TVや雑誌などの各種情報媒体を活用して露出強化を図ることも重要となる。

そこで、本事業では、県内市町村や観光協会のほか、JR東海や大阪県人会などとも連携し、対面を中心とした観光PRとTV等の各種メディアへのプロモーションの両輪で本県への観光誘客を促進することで、観光客の県内滞在時間の延長・観光消費額の拡大を図る。

(2) 事業内容

① ツーリズムEXPOジャパン出展事業	8,948 千円
② 首都圏PR事業	1,980 千円
③ 大阪岐阜県人会と連携した誘客PR事業	500 千円
④ JR東海連携PR事業	5,000 千円
⑤ 観光PR・出展事業	10,000 千円
⑥ 観光情報発信事業	11,372 千円
⑦ 県観光季刊誌制作等事業	20,402 千円
(広報費の一部を統合)	

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域をまたがる国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

① ツーリズムEXPOジャパン出展事業

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	4,988	ツーリズムEXPO「岐阜県ブース」企画・運営
使用料及び賃借料	3,960	ツーリズムEXPO出展費
合計	8,948	

② 首都圏PR事業

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,980	ゆかりの店PRチラシ作成、メディアPR
合計	1,980	

③ 大阪岐阜県人会と連携した誘客PR事業

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	500	観光PRコーナーの設置
合計	500	

④ JR東海連携PR事業

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,000	連携PRイベント開催、交通媒体によるPR
合計	5,000	

⑤ 観光PR・出展事業

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	10,000	PRキャラバン隊
合計	10,000	

⑥ 観光情報発信事業

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	550	業務旅費
消耗品費	1,350	PR用グッズの購入
役務費	120	通信運搬費
委託料	9,352	メディアツアー、TVタイアップ、PR冊子の作成
合計	11,372	

⑦ 県観光季刊誌制作事業

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	20,402	県観光季刊誌「岐阜っぽ。」等の作成
合計	20,402	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす
(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 後年度の財政負担

関係機関との連携、あるいはメディア等への積極的な働きかけにより、本県の観光情報を効果的・継続的に発信する必要があるため、後年度も継続する。

事業評価調査（県単独補助金除く）

- 新規要求事業
 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 一つのエリアで複数泊（連泊）が楽しめる地域が県内に多く存在し、これらを周遊することで、本県の高品質かつ本物の魅力が満喫できる宿泊滞在型観光を定番化する。
- ・第1ステージ(H20-24)観光資源の掘り起こしとブランディング<点の拡大>
- ・第2ステージ(H25-29)宿泊滞在型観光の本格展開<点から線へ>
- ・第3ステージ(H30-)岐阜ならではの宿泊滞在型観光の定番化<線から面へ>

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
観光消費の経済波及効果	億円 (H-)	4,601億円 (H28)	4,175億円 (H29)	4,172億円 (H30)	5,000億円 (R2)	83.4%
観光入込客数（実数）	万人 (H-)	4,696万人 (H28)	4,556万人 (H29)	4,603万人 (H30)	4,600万人 (R2)	100.1%
外国人延べ宿泊者数	万人 (H-)	101万人 (H28)	98万人 (H29)	102万人 (H30)	150万人 (R2)	68.0%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 様々なメディアを利用したプロモーションに加え、岐阜県観光展の開催や、旅の祭典「トラベルフェスタ」に出展し、県内各市町村と連携しながら岐阜県観光をPRした。また、関西圏の情報発信拠点である大阪岐阜県人連合会等においても、世界に誇る遺産を中心とした岐阜県の観光資源をPRした。

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 新型コロナウイルスの影響により、事業の範囲は限られたが、メディアの活用と観光展等の実施を両輪に、効果的に誘客を促進した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	観光客の県内周遊滞在を促進し、観光消費額を拡大させるため、市町村や観光協会などの関係機関と連携し、また、メディアを活用することによりボリューム層である三大都市圏を中心に観光PRを行い、岐阜県観光への興味を喚起する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	旅行検討者に直接・間接に情報発信を行うことにより、岐阜県の魅力を認知させることができ、県内への観光誘客及び観光消費額の拡大に有効な事業である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	市町村など関係機関と連携し、メディアも活用してプロモーションを展開することにより、旅行検討者へ岐阜県の旬な観光情報を効果的・効率的に発信している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 長期的な視点に立った首都圏、関西圏のプロモーション（新規顧客の獲得）と短期的な中京圏（リピーター獲得）を区別し、PRする内容も変えながら、PRすることが必要。さらに、新型コロナウイルスの感染状況にあわせて、実施方法を検討する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 岐阜県への誘客のためには、継続的なプロモーションが必要である。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	